『急な病気、けが』その時に

保存版

耳鼻咽喉科・眼科休日在宅当番医

● 休日急に耳や鼻、目の病気になったりした方の初期診療を行っています。当日の当番医及び受付時間については、神奈川県のホームページをご確認ください。

休日の眼科・耳鼻咽喉科の救急当番医療機関（神奈川県）

■ 診療日／日曜・祝日・年末年始（12/29～1/3）
■ 受付／9:00～17:00（原則）
なお、当日の当番医及び受付時間については、かながわ救急相談センター（#7119）でもご案内しています。

かながわ小児救急ダイヤル

● 夜間、お子さんの体調のことで判断に迷ったとき家庭でどのように対処すれば良いか、すぐに医療機関にかかる必要があるかなどについて、電話で相談に応じます。

■ 受付／毎日18:00～翌8:00

⇒☎＃8000

直通ダイヤルなど、詳しくは神奈川県HPをご参照ください。
かながわ救急相談センター（#7119）も併せてご利用ください。

かながわ小児救急ダイヤル

急に歯が痛くなったとき

● ゴールデンウィーク、年末年始に急に歯が痛くなったなどの症状がある方を診療しています。

■ 診療日／ゴールデンウィーク（5/3～5/5）・年末年始（12/30～1/3）
■ 受付／9:00～11:30　13:00～16:00

歯科医師会館診療所
川崎区砂子2-10-10
☎819-4494・FAX 819-4457

中原歯科保健センター
中原区小杉町2-288-4
☎733-1248・FAX 733-1248

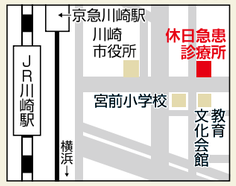
百合丘歯科保健センター
麻生区高石4-15-5
☎966-2261・FAX 966-2261

休日急患診療所（内科・小児科）

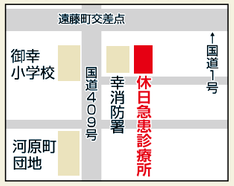
● 休日急に体調が悪くなった方の初期診療を行っています。
専門的な治療が必要な場合には、別の医療機関を紹介することがあります。

■ 診療科目／内科・小児科　■ 診療日／日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）
■ 受付／9:00～11:30　13:00～16:00
- 多摩休日夜間急患診療所は、毎日18:30～22:30（内科）
- 北部小児急病センター（多摩休日夜間急患診療所内）は、毎日18:30～翌朝5:30（小児科）
- 中部小児急病センター（日本医科大学武蔵小杉病院内 中原区小杉町1-383 ☎044-733-5181）は毎日18:30～23:00（小児科）
- 南部小児急病センター（市立川崎病院内 川崎区新川通12−1 ☎044-233-5521）は毎日17:00～翌朝8:30（小児科）も受付しています。
（南部小児急病センターは、来院前に電話連絡してください）

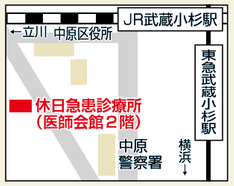
川崎休日急患診療所
川崎区富士見1-1-1
☎211-6555・FAX 244-3889



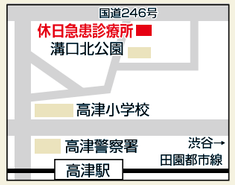
幸休日急患診療所
幸区戸手2-12-12
☎555-0885・FAX 544-3840



中原休日急患診療所
中原区小杉町3-26-7
☎722-7870・FAX 722-8477

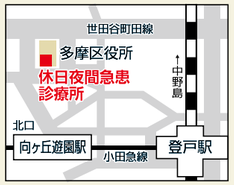


高津休日急患診療所
高津区溝口5-15-5
☎811-9300・FAX 811-9700

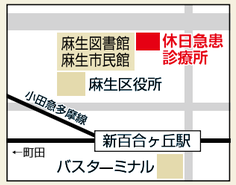


宮前休日急患診療所
宮前区東有馬2-13-3
☎853-2133・FAX 855-3044

多摩休日夜間急患診療所
多摩区登戸1775-1
☎933-1120・FAX 932-6671



麻生休日急患診療所
麻生区万福寺1-5-3
☎966-2133・FAX 955-3571



かかりつけ医・かかりつけ歯科医
かかりつけ薬剤師・薬局
を持ちましょう。

川崎市健康福祉局
川崎市

令和8年2月発行

かながわ救急相談センター（#7119）

● **医療相談・医療機関案内**　**24時間365日対応しています。**
急な病気やけがをした場合、救急車を呼ぶべきか、すぐに医療機関にかかる必要があるか、受診できる病院・診療所はどこかなどを電話で相談に応じます。

○ 市外局番が042以外のプッシュ回線、携帯電話でご利用の場合
⇒☎＃7119

○ ダイヤル回線、IP電話または市外局番が042のプッシュ回線でご利用の場合
⇒☎045−232−7119 または ☎045−523−7119

● **LINE「かながわ救急パーソナルサポート」**
LINEでも緊急度判定や、医療機関検索が可能です。
※聴覚障がいがある方はFAXにより医療機関案内がご利用できます。
FAX 045-242-3808（医療機関案内のみ利用可能です。）

かながわ救急相談センター

医療情報ネットナビイ

パソコン、スマートフォン、携帯電話により医療機関を探すことができます。

PC・スマートフォン

携帯電話

サポート救急協力事業者案内

緊急性がなく医療機関までの交通手段がない方や送迎に車椅子や寝台が必要な方を対象にした民間救急車等の連絡先をご覧頂けます。
※民間救急車等の利用には各社所定の料金がかかります。

◎ 緊急かつ重篤な場合は119番で救急車を呼びましょう。
◎ 救急車を呼んでほしい症状は次のページをご覧下さい。

事業者一覧

救急車 必要なのはどんなとき？

救急車を上手に使いましょう

◆救急医療の受診について

症状に緊急性がなくても、「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいかわからない」と救急車を呼ぶ人がいます。また、「平日休めない」や「日中は用事がある」などの理由で、病院の救急外来を、夜間や休日に受診する人もいます。

救急車や救急医療は**限りある資源**です。いざというときの皆さん自身の安心のために、救急医療の受診について考えてみませんか。

◆川崎市救急受診ガイドについて

川崎市救急受診ガイドは、各症状の有無について、「はい」「いいえ」を選択していただくことで、4つの緊急度に分類します。救急車を利用する際の判断材料として御活用ください。

川崎市救急受診ガイド
二次元コード

熱中症にご注意ください！

◆熱中症予防のポイント

- 炎天下に長時間いない！
  日陰の利用、こまめな休憩が大切です！
- 水分・塩分補給をこまめに！
  のどが渇かなくても水分や塩分を補給しましょう！
- 室内の温度・湿度管理！
  エアコンや扇風機等を活用しましょう！
- 涼しい服装で体温管理！
  外出の際は日傘や帽子を活用しましょう！

◆熱中症かもと思ったら

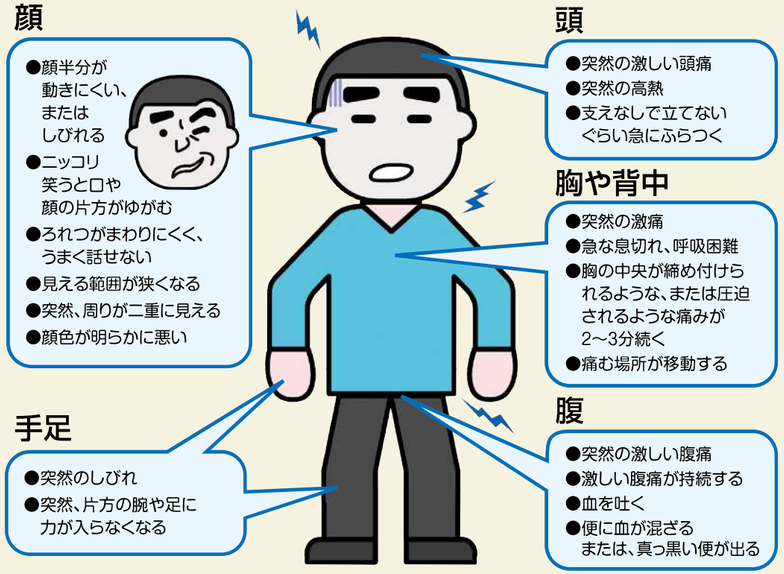
- 涼しい場所へ！
  エアコンが効いた室内や
  風通しのよい日陰などへ避難する。
- からだを冷やす！
  服をゆるめ、からだを冷やす
  （特に、首の回り、脇の下、足の付け根など）
- 水分・塩分補給！
  水分・塩分、経口補水液※などを補給する。
  ※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの

自力で水が飲めない、意識がない場合は、
すぐに救急車を呼びましょう!

消防庁　FDMA 住民とともに　川崎市消防局

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：大 人

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください!
重大な病気やけがの可能性があります。



顔

- 顔半分が動きにくい、またはしびれる
- ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくく、うまく話せない
- 見える範囲が狭くなる
- 突然、周りが二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 支えなしで立てないぐらい急にふらつく

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2～3分続く
- 痛む場所が移動する

手足

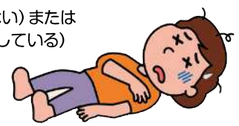
- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

腹

- 突然の激しい腹痛
- 激しい腹痛が持続する
- 血を吐く
- 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）
- ぐったりしている



けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

吐き気

冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

ためらわず救急車を呼んでほしい症状：こども（15歳以下）

こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください!
重大な病気やけがの可能性があります。

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手足

- 手足が硬直している

意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかしい（もうろうとしている）

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

生まれて３カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合